

電気製品の事故に遭わないために

～最近の電気製品の事故事例から～

平成24年4月

関西電気安全委員会

まえがき

私たちの身近には多種多様な電気製品が流通し、電気製品に関わる事故が起こっています。

これらの事故を防ぎ、安全な生活を送ることができるようにするため、行政、関係団体等が様々な活動を行なっています。

関西電気安全委員会においても、電気製品に関わる事故の未然防止に努めているところですが、このたび、経済産業省、独立行政法人製品評価技術基盤機構のホームページから、最近の事故事例を抜粋して、電気製品に関わる事故に遭わないために気を付けていただきたいことをまとめ、冊子を作成しました。

本冊子が電気製品に関わる事故を防ぎ、安全な日常生活を送っていただくための一助となれば幸いです。

平成24年4月

関西電気安全委員会



目 次

まえがき

I. 経済産業省のホームページ「製品安全ガイド」から

1. 電源コード付け根部分の損傷によるショートP. 5
2. マルチタップの電力容量オーバーご注意ください！P. 6
3. 鑑賞魚水槽用まわりの製品① 水槽用ヒーターの過熱P. 7
4. 鑑賞魚水槽用まわりの製品② 飛沫によるトラッキング現象発生P. 8
5. 「風呂用投げ込みヒーター」電源コードのショートP. 9
6. 『圧力炊飯器』での調理にご注意ください！P. 10
7. 『電気ポット』の残り湯を捨てる際にご注意ください！P. 11
8. 『電気ストーブ』の使用にご注意ください！P. 12
9. 電気洗濯機での指の巻き込みご注意ください！P. 13

II. 独立行政法人製品評価技術基盤機構(nite)製品安全センターの ホームページから

1. 古い扇風機から出火P. 15
2. エアコンから出火・火災P. 16
3. テレビ(ブラウン管型)からの出火P. 17
4. 温水洗浄便座の発火事故P. 18
5. ヘヤドライヤーからの出火P. 19
6. 電気こたつの事故P. 20
7. 電気ストーブの事故P. 21
8. 電源プラグのトラッキング現象P. 22
9. テーブルタップからの発火事故P. 23
10. 水槽用ヒーターの発火事故P. 24
11. 電源コードで火災事故P. 25
12. 電源コード断線による事故P. 26
13. 電気こんろによる火災P. 27
14. IHこんろの事故P. 28
12. 洗濯物から発煙・発火P. 29
13. シュレッダーの指切断事故P. 30

III. 資料編

1. 経済産業省からの重要なお知らせ
事故を防ぐために、製品には設計標準使用期間があります。P. 32
2. 独立行政法人製品評価技術基盤機構(nite)製品安全センターからのおしらせ
事故情報収集制度とNITEP. 34
NITEの製品事故防止に向けた情報提供 事故ナイトいいねP. 35

I. 経済産業省ホームページ「製品安全ガイド」から

1. 電源コード付け根部分の損傷によるショート

様々な電気製品において、電源コード付け根部分の損傷によるショートが原因とみられる発火事故が発生。

2. マルチタップの電力容量オーバーご注意ください！

定格要領1500Wのマルチタップに700Wのホットカーペットと1000Wの電気ポットを同時に使用していたところマルチタップのコード部から出火。

3. 鑑賞魚水槽用まわりの製品① 水槽用ヒーターの過熱

温度コントローラーと必ず組合せて使用するべき水槽用ヒーターについて、ヒーター単独で使用したことによる過熱・焼損事故が多発。

4. 鑑賞魚水槽用まわりの製品② 飛沫によるトラッキング現象発生

水槽近くにあるコンセントに鑑賞魚水槽からの飛沫がかかったことにより、コンセントから発火する事故が発生。

5. 「風呂用投げ込みヒーター」電源コードのショート

浴槽内のお湯の保温に用いられる「風呂用投げ込みヒーター」において、ヒーターの電源コードのショートが原因と見られる発火事故が発生。

6. 『圧力炊飯器』での調理にご注意ください！

豆が入ったおかゆを調理し、炊飯完了のお知らせ音を聞いてから蓋を開けたところ、内容物(おかゆ)が飛び散って火傷。

7. 『電気ポット』の残り湯を捨てる際にご注意ください！

電気ポットの残り湯の排水時に上蓋を外さないで本体と蓋を持って残り湯を排水したときに、蓋が外れてお湯が太もみに掛かり火傷。

8. 『電気ストーブ』の使用にご注意ください！

電気ストーブの上にバスタオルが落ちて、バスタオルとストーブ本体及び周辺が燃える火災が発生。

9. 電気洗濯機での指の巻き込みご注意ください！

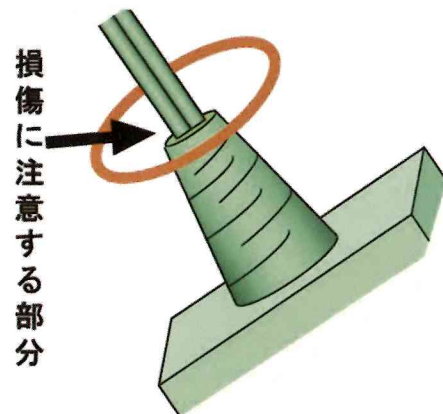
洗濯が終了したと思い、上ぶたを開けると脱水槽がゆっくり回っていたが、洗濯物を取ろうと手を入れたところ、洗濯物が絡まり、指を切断。

電源コード付け根部分 損傷によるショート

様々な電気製品において、電源コード付け根部分の損傷によるショートが原因とみられる発火事故が発生しています。

事故の例

- 事例その1: ヘヤードライヤーの本体出口部の電源コードが焦げて電源が入らない。
- 事例その2: 電気あんかを足下に置いて就眠したが、足に熱を感じて取りだしてみると火花が出ており、コードの根本が焦げていた。
- 事例その3: 寝る前の布団を予め暖めるために電気毛布のスイッチを入れておいたところ、しばらくして炎が上がった。コントローラー付け根のコードが断線していた。



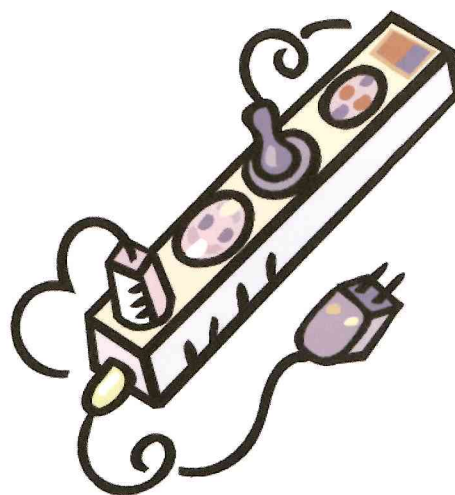
ここに注意！

- ✓ 電源コードの付け根部分は、屈曲や荷重が加わりやすい部分です。その対策として、プロテクタが設けられていますが、繰り返しの屈曲や荷重により断線が発生することがあります。
- ✓ 付け根の損傷に注意を払い、コードの外観に異常がないか使用の度毎に目視確認をしましょう。異常があった場合には、当該機器の使用は止め、専門家に修理を依頼しましょう。

マルチタップの電力容量オーバーにご注意ください！

こんな事故が起こっています

定格容量1500Wのマルチタップに700Wのホットカーペットと1000Wの電気ポットを同時に使用していたところマルチタップのコード部から出火した。



これが原因

マルチタップに過度の電流が通電し、発生した熱により配線皮膜が溶融し、マルチタップの配線内で短絡し、出火に至った。

ここに注意

マルチタップに接続されるそれぞれの電気製品の消費電力に関する表示を確認し、合計する消費電力がマルチタップの定格容量を超えないことを確認した上で接続しましょう。